

[成果情報名] ピワ良食味品種「涼風」「陽玉」の施設栽培における果実品質

[要約] 加温施設栽培の「涼風」の果実品質は、糖度が「茂木」に比べ0.9以上高く安定している。「陽玉」の果実品質は、糖度が「茂木」に比べ0.5以上高く、果肉は「茂木」と同等に柔らかい。また、「涼風」「陽玉」とも果実の糖度が露地栽培より高く安定している。

[キーワード] 加温施設栽培、「涼風」、果実品質、糖度、「陽玉」、果肉

[担当] 長崎果樹試・常緑果樹科

[連絡先] 0957-55-8740、電子メール takami@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 九州沖縄農業・果樹

[分類] 普及

[背景・ねらい]

ピワ新品種「涼風」「陽玉」の施設栽培の早期普及を図るため、施設栽培における果実の特性を明らかにし、高品質果実生産技術の確立に資する。

[成果の内容・特徴]

1. 「涼風」は、1果平均重が54.3g と「茂木」の45.7g に比べ大きく、種子数が4.9個と多い(表1)。果実の糖度は「茂木」に比べ約1.0~2.0高く、酸含量は差がない(表1)。果肉硬度は「涼風」が「茂木」に比べやや高い傾向である(表1)。
2. 「陽玉」は、1果平均重が60.5g と「茂木」の45.7g に比べ大きく、種子数に差はない(表1)。果実の糖度は「茂木」に比べ約0.5~1.0高く、酸含量はやや高い(表1)。果肉硬度は「茂木」と同等に柔らかく、果皮色は橙色の濃度がやや濃い(表1)。
3. 加温施設栽培の「涼風」「陽玉」は、果実糖度が露地栽培に比べ約1.0以上高くなり、果肉も柔らかくなる傾向である(表1)。

[成果の活用面・留意点]

1. 「涼風」「陽玉」とも1996年に8年生の「福原早生」に高接ぎした樹を供試した。
2. 施設栽培の温度管理は、最低温度を10 ~ 14 に設定し、長崎早生型と同様の温度管理とした。

[具体的デ - タ]

表1 ビワ「涼風」「陽玉」の施設栽培における果実特性 (2000~2002年)

品 種	1果平均 重 (g)	種子数	糖 度 (Brix)	酸含量 (g/100ml)	果肉硬度 ^z (g/cm ²)	果皮色	
						a ^y	a/b ^x
涼 風							
2000	58.8	4.2	13.5	0.20	349.2	15.4	0.35
2001	52.8	5.7	14.5	0.17	353.2	15.4	0.36
2002	51.3	4.8	12.4	0.19	342.7	14.9	0.35
平 均	54.3	4.9	13.5	0.19	348.4	15.2	0.35
(露地栽培)	59.3		11.7	0.30	365.3	16.6	0.36
陽 玉							
2000	61.4	2.6	13.7	0.23	302.3	14.6	0.37
2001	60.3	3.7	13.1	0.28	322.4	15.4	0.40
2002	59.7	3.6	11.3	0.28	297.8	14.5	0.37
平 均	60.5	3.3	12.7	0.26	307.5	14.8	0.38
(露地栽培)	69.0		11.4	0.31	323.3	14.3	0.36
茂 木							
2000	50.7	2.8	12.6	0.21	335.7	15.5	0.37
2001	40.7	2.8	12.6	0.18	313.3	17.5	0.41
2002	-	-	-	-	-	-	-
平均	45.7	2.8	12.6	0.19	324.5	16.5	0.39
(露地栽培)	42.7		11.8	0.23	349.7	16.1	0.38

^z ユニバーサル硬度計測定値

^y 赤色度

^x 橙色度

[その他]

研究課題名：新品種「涼風」「陽玉」の栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成14年度(平11~15)

研究担当者：高見寿隆、山下義昭

発表論文等：なし